

令和 8 年度上牧町協働のまちづくり公募型補助金

審査判定委員会（第 1 回）議事録

日時	令和 8 年 7 月 8 日(水) 午前 10 時 00 分から午前 11 時 15 分まで
場所	上牧町役場 2 階 第 3 会議室
出席者	【委員】鶴谷委員、濱野委員、福井委員、樋口委員、土肥委員 【事務局】辻村課長、土井課長補佐、高野係長、中村主事 (計 9 名)
次第	1. 開会 2. 委嘱状交付/委員長及び副委員長の選任 3. 申請者によるプレゼンテーション 4. 補助金交付の適否の審査・判定 5. その他 6. 閉会

1. 決定事項

【審査結果】

申請のあった2団体（K-GOOD 及び Together）について、申請内容を確認した結果、適正であると認められた。

2. 申請者によるプレゼンテーション（1団体目）

事業名	地域清掃活動による地域活性化事業
団体名	K-GOOD
事業費	177,800 円
補助対象経費	177,800 円
補助金額	150,000 円

発言者	発言内容
申請者	事業の説明。
委員	清掃活動について、清掃の範囲はどのように設定される予定か。
申請者	清掃範囲や地域はその時々で変更している。今後は子どもにも参加していただきたいと考えていることから、範囲についても検討していく。 また、町内全てのかたに声をかけるとするのはハードルが高い部分があることから、各自治体に声かけを行い、事業を実施していきたいと考えている。
委員	公園などの特定の場所を清掃するということではなく、道路などを歩きながら清掃していくということか。
申請者	そのとおりである。また、今年度は道路清掃に加えて、夏に片岡城跡の草刈りについても実施したいと考えている。

発言者	発言内容
委員	片岡城跡の草刈りとなると草刈り対象面積が広くなると思うが、実施体制の目途はあるか。
申請者	前回の清掃活動では約 30 名のかたに参加いただいた実績があり、今回についても広く声かけを実施することで参加者を募りたいと考えている。
事務局	先ほどの事業説明のなかで、8 月 9 日に片岡城跡の草刈りを実施予定ということであったが、秋はいつ頃、どのあたりを実施する予定をしているか。
申請者	秋の実施分については実施日や場所は未定である。
委員	役員の副会長と監査に上牧町外のかたがいらっしゃるが、町と関わりのあるかたか。
申請者	元々上牧町に住んでいて、現在は上牧町内で商いをしているものである。
委員	今回清掃活動を実施するに当たり、士気を高めることや一体感の醸成という観点でジャケット及びパーカーを作成されると思うが、これは今年度限りの申請内容になるか。
申請者	清掃活動の実績があまりまだないので明確には申し上げにくいですが、その予定ではある。 今後不定期で活動を実施した際に、どの程度人数が集まってくるのかによって、今後の申請内容は変わってくると考えている。
事務局	夏に実施される片岡城跡の草刈りにについても、道路清掃同様に広く参加を呼びかける予定か。
申請者	広報や呼びかけをしていきたいという考えはあるが、今後内部で相談し決めていく。
委員	団体の皆さんはどのような関係性か。
申請者	元々商工会青年部でのつながりがあり、その縁で K-GOOD を運営している。

3. 申請者によるプレゼンテーション（2団体目）

事業名	上牧町国際交流（多文化共生）事業
団体名	Together
事業費	149,270 円
補助対象経費	149,270 円
補助金額	149,270 円

発言者	発言内容
申請者	事業の説明。
委員	今回で何回目の申請であったか。
申請者	今回で4回目の申請である。ただし、今年度から日本語教室を開室し、新規事業として実施予定である。
委員	既に3回申請をしているが、今年度は新規事業として日本語教室を開室されることから、事業としては1回目の申請、団体としては4回目の申請ということでよかったか。
申請者	そのとおりである。
委員	多くの在留外国人は仕事で来日しているなど、企業が関係していることが多いと思うが、企業から団体に対して支援はあるか。
申請者	現時点では特に支援はないが、今まではどのようにして企業に対してアピールしていけばよいのかも定まっていなかった。 今回、日本語教室を開室するということで、その教室の周知も兼ねて事業所にアピールをしたいと考えている。 国や県が推奨している施策だと認識しているので、町の所管課である企画財政課とも協働で推進していきたいと考えている。
委員	技能実習生の受入れをしている企業とも協力していきながら、多文化共生を実現できればと考える。

発言者	発言内容
申請者	企画財政課をはじめとする上牧町からも働きかけをお願いできればと考えている。 上牧町には多くの介護施設があり、介護士を目指している外国人が多くいると考えている。日々の業務のなかで、日本語でコミュニケーションができるということは円滑な業務遂行にもつながっていくと思うので、日本語教室を通じて支援できればと考えている。
委員	他市町村の高校や大学にも多くの留学生が在籍していると思うが、そのような学生とのつながりも見据えているか。
申請者	まずは上牧町内の外国籍住民を対象として事業を展開していきたいと考えている。 今後、他市町村の多文化共生に関係する団体とも関係を築きながら、講座を開設する際に講師として招くことなどは考えられる。
委員	支出の報償費について、外部講師にはどのようなかたを招かれる予定であるか。
申請者	日本人向けのやさしい日本語教室を開室する予定をしており、その教室に NPO 法人の「ICHI」様から講師を招く予定である。